

一般社団法人 日本生物物理学会  
2023 (令和 5) 年度 事業報告  
(2023 年 5 月 1 日～2024 年 4 月 30 日)

目次

\*\*\*\*\*

1. 事業概要

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書発行 (定款第四条第 1 号)

2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催 (定款第四  
条 第 2 号)

2-3. 人材育成 (定款第四条第 3 号)

2-4. 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰 (定款第四条第 4 号)

2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第 5 号)

2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第 6 号)

2-7. 普及啓発活動

3. 付属明細

(付属明細 1) 処務詳細資料

- ・総会・役員会等に関する事項
- ・契約・入札・他に関する事項

(付属明細 2) 会員の異動状況

(付属明細 3) 事務局の現況 (2024 年 4 月 30 日現在)

\*\*\*\*\*

1. 事業概要

主な活動は

- 1) 学術誌・学術図書 (和文誌・欧文誌) の発行
- 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催
- 3) 研究及び調査の推進・人材育成
- 4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰
- 5) 関連学術団体との連携及び協力
- 6) 国際的な研究協力の推進
- 7) 普及啓発活動
- 8) その他

である。以下にそれぞれを概説する。

## 1) 学術誌・学術図書（和文誌・欧文誌）の発行

和文誌『生物物理』第 63 巻 3 号～6 号、Supplement1-1（年会プログラム集）・1-2（年会予稿集：電子版のみ）、第 64 巻 1 号・2 号を刊行した。

欧文誌 Biophysics and Physicobiology Vol.20、Vol.21 を刊行した。

## 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催

### 2-1) 第 61 回日本生物物理学会年会の開催

2023 年 11 月 14 日～2023 年 11 月 16 日、名古屋国際会議場において、第 61 回日本生物物理学会年会を開催した。参加者総数：1686 名、演題登録状況：一般演題 887 件（口頭発表 142 件、ポスター発表 745 件）、シンポジウム：269 件であった。

### 2-2) 会員総会シンポジウムの開催

学会年会において、会員総会シンポジウム「Rocking out Biophysics! IUPAB2024 がやってくる」を開催した。

### 2-3) 学会年会において、キャリア支援説明会、科学研究費助成事業についての説明会を開催した。

## 3) 研究及び調査の推進・人材育成

### 3-1) 男女共同参画・若手支援シンポジウムおよびキャリア支援説明会の開催

学会年会において、男女共同参画・若手支援シンポジウム「ハイブリッドイベントのベストプラクティスを考える」および、キャリア支援説明会を開催した。

### 3-2) サブグループ、支部会支援活動

小中規模のグループ活動やオンラインを含むミーティング開催等を支援することにより学会活動をさらに盛り上げることを目的とし、7 件のサブグループ支援、支部会の支援を行った。

## 4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰

### 4-1) 学会年会において、若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞、IUPAB award、IUPAB student award を授与した。

### 4-2) 学会年会において、ピッチコンテストを開催、表彰を行った。

## 5) 関連学術団体との連携及び協力

生物科学学会連合定例会議に継続して出席した。

## 6) 国際的な研究協力の推進

学会のグローバル化を図るため、年会において海外とのジョイント・シンポジウム 2 件を開催した。

21st IUPAB International Biophysics Congress（2024 年）の合同開催に向け、国際

関係委員会（IAC）において準備・検討を行った。

## 7) 普及啓発活動

### 7-1) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化

編集委員会の開催、サイトの整備など、Biophysics and Physicobiology 活性化のための取組を実施した。

### 7-2) 小中高を対象としたセミナー講師派遣

2016年10月より、小学・中学・高校生を対象とした講師派遣サポート事業を開始した。2023年度は、講師派遣2件が行われた。

### 7-3) 学会ウェブサイトの利便性向上

Information 欄の改定、英語ページの完全英語化、ニュース記事への SNS 投稿用ボタンの設置、研究室リンク・おすすめの研究室更新等を行った。

## 8) その他

### 8-1) 学会理事会でのウェブ会議の活用

2015年12月より学会理事会へのウェブ会議システムの活用を始めた。定時社員総会後の理事会および学会年会時の理事会は face-to-face で行っていたが、昨年度に引き続き 2023年度も、新型コロナウイルスの感染予防の観点からすべての理事会をオンラインで行った。また、男女共同参画・若手支援委員会と出版委員会もウェブ会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。

## 2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行（定款第四条第1号関連）																	
2-1-1. 和文誌「生物物理」	<p>・第63巻3号～6号・第64巻1号・2号を刊行した。（A4版・隔月刊）          63巻3号 17記事63ページ          63巻4号 15記事64ページ          63巻5号 14記事61ページ          63巻6号 14記事64ページ          64巻1号 14記事75ページ          64巻2号 13記事62ページ</p> <p>【ダウンロード数（2023年5月～2024年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会 PDF 版</td> <td>5,472</td> <td>1,386</td> <td>6,858</td> </tr> <tr> <td>J-STAGE 版</td> <td>10,153</td> <td>935,488</td> <td>945,641</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,625</td> <td>936,874</td> <td>952,499</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第63巻はSupplement1-1（年会プログラム集：印刷体3520部）、Supplement1-2（年会 予稿集：電子版のみ）も発行した。</p> <p>【冊子体購読数】          機関会員：31、購読（書店経由）：38、購読会員：7（内名誉会員3）          上記に加え、賛助会員4、寄贈会員5にも送付した。</p>		今期刊行号	バックナンバー	総計	学会 PDF 版	5,472	1,386	6,858	J-STAGE 版	10,153	935,488	945,641	合計	15,625	936,874	952,499
	今期刊行号	バックナンバー	総計														
学会 PDF 版	5,472	1,386	6,858														
J-STAGE 版	10,153	935,488	945,641														
合計	15,625	936,874	952,499														
2-1-2. 欧文誌「Biophysics and Physicobiology」	<p>Vol.20 (2023.5-12)          Regular Article 10、Review Article 7、Note 0、Editorial 1、          Commentary and Perspectives 7、Database and Computer Program 1、Method and Protocol 0、Special Issue 1</p> <p>Vol.21 (2024.1-4)          Regular Article 5、Review Article 4、Note 0、Editorial 0、          Commentary and Perspectives 4、Database and Computer Program 0、Method and Protocol 1、Special Issue 19</p> <p>【ダウンロード数（2023年5月～2024年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,024</td> <td>39,784</td> <td>54,808</td> </tr> </tbody> </table>	今期刊行号	バックナンバー	総計	15,024	39,784	54,808										
今期刊行号	バックナンバー	総計															
15,024	39,784	54,808															
2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号関連）																	
2-2-1. 年会運営	<p>・以下の年会を開催した。</p> <p>2023年第61回日本生物物理学会年会          年会実行委員長：神取 秀樹 氏（名工大）          日時：2023年11月14日～16日          場所：名古屋国際会議場</p> <p>・以下の年会の開催準備を行った。</p> <p>1) 2024年第62回日本生物物理学会年会          年会実行委員長：野地 博行 氏（東大）          日時：2024年6月24日～28日          場所：京都国際会議場</p> <p>2) 2025年第63回日本生物物理学会年会          年会実行委員長：高田 彰二 氏（京大）          日時：2025年9月24日～26日          場所：奈良県コンベンションセンター</p>																

	<p>3) 2026 年第 64 回日本生物物理学会年会  年会実行委員長：朴 三用 氏（横浜市立大）  日時：未定  場所：未定</p>
2-2-2. 総会シンポジウム	<p>・以下の総会シンポジウムを開催した。  第 10 回会員総会シンポジウム「Rocking out Biophysics! IUPAB2024 がやってくる」  日時：2023 年 11 月 15 日 12:40～13:50 会員総会中  場所：名古屋国際会議場 2 号館 3 階 H 会場  形式：講演</p>
2-2-3. 各種講演会	<p>35 件の協賛・共催・後援を行った。</p>
2-3. 研究及び調査の推進・人材育成（定款第四条第 3 号関連）	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	<p>・男女共同参画・若手支援シンポジウム  以下のシンポジウムを実施した。  「ハイブリッドイベントのベストプラクティスを考える」  日時：2023 年 11 月 16 日 11:40～13:10（第 61 回年会会期中）  場所：名古屋国際会議場 2 号館 1 階 A 会場  オーガナイザー：日本生物物理学会男女共同参画・若手支援委員会  形式：パネルディスカッション</p> <p>・第 61 回年会において、キャリア支援説明会として、(株)アカリクから講師を迎え、セミナー等を実施した。</p> <p>・若手の会 2023 夏の学校への資金援助（50 万円）を行った。</p>
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	<p>・男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第 21 期第 3 回、第 22 期第 1 回、第 2 回へ出席した（2023 年 8 月 30 日、2023 年 12 月 4 日、2024 年 3 月 25 日）。</p> <p>・第 21 回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。</p>
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰（定款第四条第 4 号関連）	
2-4-1. 若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞の選考、授与	<p>・第 19 回若手奨励賞の選考を行い、第 61 回年会で授賞した。（受賞者 5 名）</p> <p>・第 8 回若手招待講演賞の選考を行い授賞した。（受賞者 5 名）</p> <p>・第 8 回学生発表賞の選考を行い授賞した。（受賞者 54 名）</p>
2-4-2. Biophysics and Physicobiology 論文賞	<p>・第 12 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞  7 報の推薦論文について審査した結果、以下の 2 論文を第 12 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞とし、第 61 回年会で授賞した。</p> <p>Yumeka Yamauchi, Masae Konno, Shota Ito, Satoshi P. Tsunoda, Keiichi Inoue, Hideki Kandori  Molecular properties of a DTD channelrhodopsin from <i>Guillardia theta</i>  Biophysics and Physicobiology, vol.14, pp.57-66 (2017)</p> <p>Shoji Takada  Gō model revisited  Biophysics and Physicobiology vol. 16, pp. 248-255 (2019)</p> <p>・第 13 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞  5 報の推薦論文について、審査を開始した。</p>

2-4-3. Biophysics and Physico-biology Editors' Choice Award	<p>・以下の6報の論文を第10回 Editors' Choice Award 受賞論文とし、第61回年会で授賞した。</p> <p>Quantitative and kinetic single-molecule analysis of DNA unwinding by Escherichia coli UvrD helicase Hiroaki Yokota Biophysics and Physicobiology, Vol. 19, e190006 (2022)</p> <p>Phenotypic systems biology for organisms: Concepts, methods and case studies Takao K. Suzuki Biophysics and Physicobiology, Vol. 19, e190011 (2022)</p> <p>Dorsolateral prefrontal cortex sensing analgesia Etsuro Ito, Kotaro Oka, Fusako Koshikawa Biophysics and Physicobiology, Vol. 19, e190014 (2022)</p> <p>Coarse-grained molecular dynamics simulations of base-pair mismatch recognition protein MutS sliding along DNA Keisuke Inoue, Shoji Takada, Tsuyoshi Terakawa Biophysics and Physicobiology, Vol. 19, e190015 (2022)</p> <p>Epigenetic-structural changes in X chromosomes promote Xic pairing during early differentiation of mouse embryonic stem cells Tetsushi Komoto, Masashi Fujii, Akinori Awazu Biophysics and Physicobiology, Vol. 19, e190018 (2022)</p>
2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第5号関連)	
2-5-1. 生物科学学会連合への参画	・第24回定例会議(2023年12月19日)、第25回定例会議(2023年4月25日)に出席した。
2-5-2. 他学会との連携	・日本物理学会、日本顕微鏡学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。
2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第6号関連)	
2-6-1. IUPAB (国際純粋および応用生物物理学連合) 関連	・21st IBC (2024年)の開催準備を行った。
2-6-2. ABA (アジア生物物理学連合) 関連	・第61回日本生物物理学学会年会(2023)において、海外とのジョイント・シンポジウムを2件(台湾・米国)開催した。
2-7. 普及啓発活動	
2-7-1. Biophysics and Physico-biology の国際情報発信力強化	<p>・投稿を奨励するため、編集支援体制の強化(編集業務支援者の雇用)を実施した。</p> <p>・2019年4月 Directory of Open Access Journals (DOAJ) に登録された。</p> <p>・2020年2月、早期公開を開始した。</p>
2-7-2. 小中高を対象としたセミナー講師派遣	2024年4月30日現在の講師登録者数は39名。2件の派遣授業を行った。
2-7-4. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	学会ウェブサイトニュース欄に実施要項を掲載した。
2-7-5. その他国内・国外の啓発イベントへの参加	女子中高生夏の学校(2023年8月)にて、参加者に学会クリアファイル、学会ポスターを配布した。男女共同参画・若手支援委員の理事1名含む3名がイベントに参加し、参加者への説明を行った。

### 3. 付属明細

(付属明細1) 処務詳細資料

総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	2023年6月17日（定時社員総会）
3-1-2. 会計監査会（開催日）	2024年5月16日
3-1-3. 理事会（開催日）	<p>2023年6月17日、2023年9月9日、2023年11月14日、2024年1月27日、2024年4月6日</p> <p>・上記のうち、2023年9月9日、2024年1月27日、2024年4月6日に開催された理事会についてはTV会議システムを活用した。</p> <p>メール審議</p> <p>2023年5月16日 事業報告書・決算報告書ご確認のお願い</p> <p>2023年5月22日 文科省ロードマップ提案書承認案件「生命科学クロスオーバー研究所」</p> <p>2023年8月4日 理事会提案によるシンポジウムについて</p> <p>2023年9月27日 「ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻に関する声明文」について</p> <p>2023年9月27日 年会サポート担当の垣内さんの年会参加旅費の支出について</p> <p>2023年9月27日 理事会開催のシンポジウム「次の時代の生物学と、サステナブルなデータベース維持に向けて」のパネリストの旅費について</p> <p>2023年9月27日 [名古屋年会] SNS 発信に関するメール審議</p> <p>2023年10月6日 IUPAB2024 におけるハンズオンプログラムにおける旅費支援 500万円の支出について</p> <p>2023年10月6日 IUPAB2024 企業名を冠した賞の制定に関して</p> <p>2023年10月7日 国内学生参加者への参加費支援について</p> <p>2023年11月22日 邦文誌「生物物理」次期 副編集委員長 の選出について</p> <p>2024年1月22日 地震被災研究室学生への支援について</p> <p>2024年3月1日 IUPAB2024 への学生会員の参加支援について</p> <p>2024年3月26日 「科研費増額に関する要望書」につきまして</p>
3-1-4. 委員会（開催日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出版委員会 2023年6月17日、2023年9月9日、2024年1月27日、2024年4月6日</li> <li>・ 男女共同参画若手支援委員会 2023年6月17日、2023年9月9日、2024年1月27日、2024年4月6日 (出版委員会、男女共同参画若手支援委員会ともに、2023年9月9日、2024年1月27日、2024年4月6日開催の委員会はTV会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。)</li> <li>・ 会誌編集委員会 2023年9月28日、2023年12月11日、2024年3月9日</li> <li>・ Biophysics and Physicobiology 編集委員会 2023年11月15日、2023年12月9日</li> <li>・ ウェブサイト編集委員会 2023年5月29日、2023年8月24日、2023年10月24日 2024年1月18日、2024年3月27日</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賞選考委員会（メール審議含む）</li> <li>2023年7月5日 島津賞</li> <li>2023年7月13日 島津奨励賞</li> <li>2023年7月25日 上原賞</li> <li>2023年8月3日 中谷 神戸賞</li> <li>2023年8月3日 朝日賞</li> <li>2023年8月24日 中谷奨励賞</li> <li>2023年8月24日 木原記念財団学術賞大賞</li> <li>2023年8月24日 小林賞</li> <li>2023年8月25日 井上学術賞</li> <li>2023年8月25日 内藤記念科学振興賞</li> <li>2023年9月14日 東レ科学技術研究助成</li> <li>2023年9月14日 東レ科学技術賞</li> <li>2024年12月11日 藤原賞</li> <li>2024年2月6日 山田科学研究援助</li> <li>2024年3月12日 江崎玲於奈賞</li> <li>2024年4月4日 日本学術振興会賞</li> </ul> <p>上記の各賞に候補者を推薦した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採択となった賞候補者</li> <li>第14回育志賞 山岸 純平 氏</li> <li>2023年度島津賞 岩田 想 氏（2022年度推薦）</li> <li>2023年度中谷奨励賞 渡邊 力也 氏</li> </ul>
--	--

契約・入札・他に関する事項

- ・主な新規契約に関する事項（なし）
- ・入札に関する事項（なし）
- ・その他の事項（なし）

（付属明細2）会員の異動状況

会員種別		会員数		増減
		2023年4月30日現在	2024年4月30日現在	
正 会 員	一般会員	1,833	1,831	▲ 2
	学生会員	1,029	1,196	167
	シニア会員	67	68	1
名誉会員		19	19	-
終身会員		3	8	5
功労会員		-	1	1
機関会員		32	30	▲ 2
賛助会員		5	5	-
総計		2,988	3,158	170

準会員 2023年4月30日現在 73名 2024年4月30日現在 68名

今期の新規入会者数

一般会員 105名（うち、入会キャンペーン利用者 1名）

学生会員 382名

（付属明細3）事務局の現況（2024年4月30日現在）

雇用者なし